

「令和元年度 四国地方整備局 管内技術・業務研究発表会」について（報告）

「令和元年度 四国地方整備局管内技術業務研究発表会」を7月24日、25日の2日間、高松サポート合同庁舎にて開催しました。

開会にあたり、小林局長から「発表会は日常やってる仕事を整理することができる機会、他の人がしている仕事の情報交換ができる機会、人前で発表できる貴重な機会と捉えて臨んでほしい。」との挨拶がありました。

発表会では、イノベーション部門、アカウンタビリティ部門、一般部門の3部門71題という過去最多の発表（※投稿数は73）がなされました。2日間で延べ約800名の聴講者のもと、発表と活発な質疑が行われました。発表後には、佐々木企画部長（論文審査委員長）からの講評、優秀論文として21課題が表彰を受け、浅野次長から優秀論文賞受賞者への表彰状授与及び閉会挨拶で2日間の発表会を締めくくりました。

また、2日目の午後には「技術開発発表会」が開催され、高知大学工学部坂本淳講師より「津波ハザードマップの見直しが土地利用と居住選択に及ぼした影響と課題に関する研究」、徳島大学大学院社会産業理工学研究部の成行義文教授より「市町村橋梁の橋守予防保全の実証実験ならびにその歩掛評価」、香川高等専門学校建設環境工学科の柳川竜一准教授より「南海トラフ巨大地震を想定した香川県による広域支援の可能性分析」の発表がありました。



部門	題名	所属	役職	氏名
一般	長安ダム改造事業における貴重植物への配慮について	四国地方整備局 那賀川河川事務所 開発工務課	技官	守田 銀二
一般	コンクリート舗装における区画線の視認性向上に向けた取組	四国地方整備局 道路部 道路工務課	係長	江原 早織
一般	種崎千松公園における地震・津波対策について	四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所 海岸課	工事安全管理官	松原 宗伸
一般	平成30年7月豪雨による肱川阿蘇箇所での被災メカニズムについて	四国地方整備局 大洲河川国道事務所 工務第一課	技官	松山 海人
一般	平成30年7月豪雨における立川川流域の土砂移動実態把握調査の報告	四国地方整備局 四国山地砂防事務所 工務課	技官	佐野 奈津子
一般	鹿野川ダム操作規則変更について	四国地方整備局 山島坂ダム工事事務所 管理課	技官	西内 佑輝大
一般	堆積土砂の撤去におけるコスト縮減の取組について（公募掘削）	四国地方整備局 香川河川国道事務所	建設監督官	造田 康盛
一般	観測水面形を用いた洪水流・河床変動解析による洪水時の河床断面推定の試み	四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課	技官	岡田 銀河
一般	多軸式特殊台車による橋桁運搬・相吊り架設について	四国地方整備局 土佐国道事務所 工務課	技官	岡山 将
一般	ニールセンローゼ橋の耐震補強工事における現場での配慮と工夫～国道56号 錦川大橋～	四国地方整備局 土佐国道事務所 道路保全課	技官	水田 沙和
一般	佐賀大方道路の地質リスクに関する取組み	四国地方整備局 中村河川国道事務所 調査課	技官	山本 裕規
一般	人工リーフ改良（離岸堤化）における構造検討について	四国地方整備局 高知河川国道事務所 工務課	技官	立花 朱菜
一般	道路トンネルの定期点検における点検支援技術の活用について	四国建設コンサルタント 道路・計画部設計2課		重永 雄大
一般	未処理用地における民事訴訟法第35条に基づく特別代理人制度を活用した新たな解決手法について	水資源機構吉野川本部香川川水管理事務所	事務職員	浦川 裕次郎
一般	庁舎管理業務の共同化による事務の効率化	四国地方整備局 香川河川国道事務所 総務課	係長	上池 友里子
一般	ETC2.0プローブデータを用いた整備効果算出の分析事例	四国地方整備局 松山河川国道事務所 工務第二課	技官	古屋 健登
一般	国道32号はりまや橋周辺における車線運用見直しによる渋滞対策の検討	四国地方整備局 土佐国道事務所 計画課	技官	岡安 光太郎
一般	栈橋式岸壁改良工事の一部プレキャスト化による生産性向上の取組み	四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 企画調整課	技官	山崎 大智
イノベーション	トンネル放水路におけるコスト縮減方策と事業進捗（中間報告）	四国地方整備局 高知河川国道事務所 工務課	技官	穴山 光太
イノベーション	備讃瀬戸航路におけるICT技術を活用した浚渫について	四国地方整備局 高松港湾・空港整備事務所 航路管理課	係長	藤井 愛彦
アカウンタビリティ	洪水からの逃げ方を考えよう～マイタイムラインの取組事例紹介～	四国地方整備局 徳島河川国道事務所 河川調査課	技官	山崎 久美子

